

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

またしても 中国電力の不祥事 原発動かす資格なし

島根原発が規制委より監視処分 党県議団、市議団が中電に申し入れ



金崎部長(左)に申し入れ書を提出する尾村・大國両県議、橋・吉儀・田中の市議団

島根原発にある低レベル放射線性廃棄物の一時的な保管などに使う「サイトバンカ建物」で巡視業務を怠る法令違反が相次いでいた問題で、日本共産党県議団は18日、中電島根支社を訪れ、実効ある再発防止策や徹底した情報公開とともに、原発安全神話から決別し、原発ゼロを決断するよう申し入れました。

中電は、2月16日に巡視業務を怠っていたことを2月19日に公表していました。その

と述べ、「島根原発の稼働は断念すべきだ」と迫りました。大國陽介県議は「原発に絶対の安全はない。不正・不祥事を続ける中電に原発を動かす資格はない」と強調しました。

対応した地域共生部の金崎洋利部長は「みなさんに不安をおかけしたことをお詫びします」と謝罪し、「再発防止対策を策定し、安全文化の醸成に努めていく」と答えました。

汚染水対策、原発トラブル 松江市の考えは・・・橋市議問う

中国電力による不祥事がまた島根原発で発覚しました。

2月議会で橋祥朗市議は、原発に関して、1、「東電福島第一原発では放射能汚染水は増え続けている。国の小委員会では、除去設備で処理した後のトリチウム(三重水素)を含む汚染水の処理について、『海上放出が確実』との報告書を大筋了承した。体内に取り込まれたトリチウムは遺伝子を傷つけ、先天異常や死産などが起こるとの指摘がある。また、汚染水の海上放出は地元漁業者などから強く反対する声があがっている。松江市はどのように考えているか」。

2、「伊方原発で1月に、①原子炉容器で燃料固定装置を引上げようとした際、制御棒1本がすりあげたままになっ

県の補正予算に対する緊急要望

尾村利成県議を先頭に

14日、日本共産議員団の尾村利成・大國陽介県議、橋祥朗・吉儀敬子・田中肇の日本共産党松江市議団、後藤由美出雲市議、吉井安見出雲市議候補は、県に対して「新型コロナウイルスから県民の暮らしを守るための補正予算編成を求める緊急要望」を行いました。

県は4月30日に知事専決による補正予算を編成し、日本共産党県議団は、賛成しましたが十分とは言えず「緊急事態宣言」が解除される見通しの中で、6月県議会における補正予算に3点9項目について盛り込むよう緊急に要望しました。

1点目の「検査体制の強化」は、感染の全体像をつかむための保健所管轄区域ごとにPCRセンターを開

設することや、医療・介護崩壊を防ぐため職員・患者・



松尾副知事に緊急要望を渡す党県議団